

平成28年度宮城県農業士・漁業士退任者感謝状贈呈式及び認定証交付式が開催されました

本年6月15日、宮城県庁において、平成27年度をもって退任された漁業士の方々に対し、村井知事から感謝状が贈呈されました。また、新たに指導漁業士、青年漁業士に認定された皆様には、村井知事から認定証が交付されました。

中部支部では、3名の方が認定期間の満了に伴い退任されました。御三方には地域の中核的漁業者として、長期にわたって地域漁業の発展や後継者育成などに御尽力賜り、これまでの御活躍に敬意を表します。また、新たに中部支部では、3名の方が指導漁業士として認定されました。

今後、地域漁業の発展のため、中核的漁業者として御活躍いただけることを期待しております。

なお、今回の退任及び新指導漁業士の認定により、中部支部漁業士は指導28名、青年16名の計44名となりました。



内海秀一指導漁業士



丹野善一指導漁業士

退任された皆様

認定番号	所属支所	氏名	漁業種類
第18号	表浜支所	きむら ただよし 木村 忠良	養殖(ノリ、ワカメ)
第27号	石巻湾支所	たかはしふみお 高橋 文生	養殖(カキ、種ガキ)
第33号	北上町十三浜支所	さいじょう ひでお 西條 幣夫	養殖(ワカメ、コンブ、ホタテ)

新たに指導漁業士に認定された皆様

認定番号	所属支所	氏名	漁業種類
第133号	雄勝町雄勝湾支所	さとう はじめ 佐藤 一	養殖(ホタテ、ギンザケ)
第134号	石巻湾支所	たんの よしかず 丹野 善一	養殖(ノリ)
第135号	石巻湾支所	うつみ しゅういち 内海 秀一	養殖(カキ)

退任された方と新たに認定された方から



退任

西條 幣夫 指導漁業士 (平成28年第33号指導認定)

漁業士として活動してきた思い出は、20代の頃から、自分たちの地域だけでなく北部や南部の先輩漁業士と「人との繋がり」ができたことと考えています。漁業士という立場で、上下関係なく横の繋がりを持たせたと実感しており、それは自分にとっての宝になっています。



認定

佐藤 一 指導漁業士 (平成28年第133号指導認定)

震災後に地域の漁業者が減少してしまいましたが、新たに若い人たちが加わり、一緒に漁業ができるようになりました。

指導漁業士として、また、中部支部役員として若い漁業者と一緒に頑張りたいです。併せて、若い人たちがどんどん漁業士になれるよう普及活動も頑張りたいです。



認定

内海 秀一 指導漁業士 (平成28年第135号指導認定)

指導漁業士に認定されると共に、中部支部の役員にも就任しました。カキ養殖業者に若い人たちが増えてきたので、これまで培ってきた知識や経験を伝えながら浜の皆さんと一緒に頑張りたいです。

宮城県漁業士会中部支部の新執行部が誕生しました！！

平成28年7月15日に開催された平成28年度宮城県漁業士会中部支部通常総会において、平成28～29年度を任期とする新役員が選出されました。新役員に選ばれた皆さんを御紹介します。



※木村雅光理事は写真撮影時に不在

役職	氏名	所属
支部長	さいじょう ゆきまさ 西條 幸正	北上町十三浜支所
副支部長	ほそかわ やすひろ 細川 泰宏	石巻地区支所
	うつみ しゅういち 内海 秀一	石巻湾支所
理事	いしもり はやと 石森 隼人	石巻市東部支所
	ひらつか ともひろ 平塚 友洋	石巻市東部支所
	たかいずみ もとゆき 高泉 元幸	女川町支所
	きむら まさみつ 木村 雅光	表浜支所
監事	すだ えみ 須田 えみ	石巻地区支所
	さとう はじめ 佐藤 一	雄勝町雄勝湾支所

旬な漁業の現場から ～会員の取組を紹介します～

佐藤一指導漁業士(JF雄勝湾支所)が宮城学院女子大学の魚食育プログラムの講師として招かれました！

宮城学院女子大学では、近年、家庭での魚離れを改善するため、食品としての魚介類の良さを説明しながら、魚食の機会が増えるように、小学生とその保護者の方々に対して、開催月の旬な魚を使って親子料理教室を実施しております。

6月18日に開催されたその料理教室に講師として佐藤指導漁業士が招かれ、旬のホヤについて、養殖方法のみならず、栄養成分や調理方法について講義していただきました。

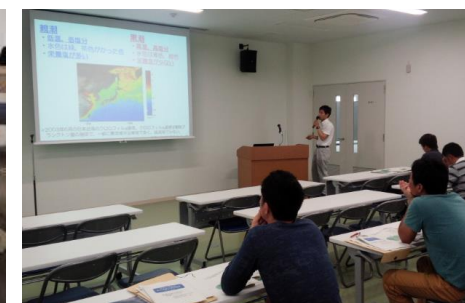
参加した皆さんからは、ホヤが美味しかった、講義が楽しかったと感想をいただきました。



平成28年度青年漁業士養成講座が開催されました

漁業士の認定には、県が実施する青年漁業士養成講座を履修することが要件の一つとなっています。今年度は当管内から、来年度の認定候補者5名の皆様が、6月29～30日と8月28日及び9月8日の間で2日間受講されました。

受講された皆様については、平成29年5月に開催する宮城県漁業士認定検討会で審査を経て、同年6月の宮城県農業士・漁業士退任者感謝状贈呈及び認定証交付式にて、認定証を受け取り、正式に漁業士となる予定です。



浜情報 ～順調に養殖生産が行われています～

カキ剥き作業が始まりました！！

今年、8月から9月の台風が各浜のカキ養殖をはじめ、多くの漁業に被害をもたらしました。また、身入り回復が遅れ、カキの水揚げへの影響が心配されましたが、10月10日にカキ剥きが始まり、各浜では精力的にカキの出荷作業が行われています。

高泉元幸青年漁業士(JF 女川町支所所属)は、尾浦地区でカキ養殖に従事している方の一人です。

高泉青年漁業士は、主に殻付きカキの出荷を行っており、年間を通じて殻付きカキを出せるようにしたいと考えておられます。

自身の強みは「どんな時化でも海に出られること」とのことです。人一倍漁業にける熱い思いをお持ちです。また、「来る者は拒まず」を信条に漁労活動を行っているとのこと。

「漁師は皆、良きライバルであり仲間」「一人だけでは、何かあったときに困るので助け合いが大切」との考えをお持ちで、常に周囲との協力を意識して活動しており、漁業士になって、今回役員を引き受けたのも、その思いがあるためとおっしゃっていました。

「水産業の発展には、食文化を絶やさないことが大切」と、生産面以外についての熱い思いも聞かせていただきました。これまで漁業士になっていただいた方々の思いを受け継ぐ、宮城の水産業を支えてくれる若い漁師が絶えていないことを嬉しく思いました。

ノリの摘採が始まりました！！

今年度のノリ種は、中間育成時期に見舞われた降雨による障害で、生産への影響が心配されていました。

11月22日に行われた初入礼会では、各地区とも良好な落札結果となり、生産者の皆様はホッとされたことと思います。

内海広志指導漁業士(JF 石巻湾支所所属)は、渡波地区でノリ養殖に従事している漁業者の一人です。漁業を行う上での信条は、「安全第一、傲(おご)らず、生活を出来るように頑張る」とのこと。ベテラン漁業者でありながら、謙虚な気持ちを大切にしておられました。

内海指導漁業士は、長年培った経験で、その日に摘採したノリの状態を見ながら、全自動乾燥機を操作し、出来上がるノリの厚さを調整します。「前年の生産成績より上を目指している」日々技術向上に励まれる姿は、ノリ作りへの情熱に溢れていました。

ノリの摘採は来年の4月まで続きますので、お身体には十分気をつけて生産していただきたいです。



うつみ ひろし
内海 広志 指導漁業士

(平成27年第130号指導認定)



たかいずみ もとゆき
高泉 元幸 青年漁業士

(平成27年第160号青年認定)



ワカメの漁期が始まりました！！

今シーズンのワカメ養殖が管内各浜で始まっております。

石森昌洋青年漁業士(JF 表浜支所所属)は、小湊浜でワカメ養殖に従事しています。旬の味覚を食卓に届けるため、現在カキ剥き作業と並行してワカメを管理されています。

10月下旬に塩釜種の挟込みを終え、現在の生育状況を伺うと、「今年の種の状態は良好です。ワカメは短期勝負のため、この時期は死ぬ気でやっています。」とのコメントをいただきました。その言葉どおり、養殖作業に精力的に取り組まれておられます。「小湊浜のワカメは、内湾で育てているので柔らかくて食べやすいのが自慢」とのことです。収穫の時期が来たら、石森青年漁業士が手塩に掛けて育てたワカメを是非召し上がってみてください。



いしもり まさひろ
石森 昌洋 青年漁業士

(平成27年第161号青年認定)



ホタテの半成員の搬入が始まりました！！

ホタテの半成員の耳吊り作業が管内各浜で精力的に行われています。早い地区では11月上旬から半成員の搬入が始まり、現在終盤を迎えております。

佐々木克弥指導漁業士(JF 北上町十三浜支所所属)は、大指地区でホタテ養殖に従事している漁業者の一人です。

佐々木指導漁業士は、半成員を耳吊りせず、カゴで養殖しています。従前の養殖方法にとらわれず、作業効率を考慮して生産を行っているとのこと。

また、漁業一筋40年のベテランでありながら、「海は毎年変化するので、日々勉強だ」とおっしゃいます。また、「これまで培った経験を若者たちに継承していきたい」「水産県宮城を継続できるように一次産業の大切さを伝えていきたい」と、漁業へかける情熱は人一倍の「海の漢(おとこ)」です。

「十三浜のホタテは、甘みがあるのが特長」とのことです。佐々木指導漁業士は、震災後「漁業生産組合 浜人」に所属し、生産活動の一翼を担っております。ベテランが培った経験で水揚げしたホタテ等を皆様も一度味わってみてはいかがでしょうか？ 【問い合わせ先】☎ 0225-66-2071



ささき かつや
佐々木 克弥 指導漁業士

(平成14年第64号指導認定)

事務局から

【追伸】

先の台風及び福島県沖地震による津波の被害に遭われた方には、この場を借りてお見舞い申し上げます。

さて、管内の各浜では、カキ剥きがスタートし、ノリの生産、ワカメの種挟み、ホタテ半成員の耳吊りなど大変忙しい時期を迎えています。会員の皆さんには体調管理に留意し、事故の無いよう浜作業を行っていただければと思います。

遅くなりましたが、4月に人事異動により体制が変わり、普及指導員1年生が事務局をさせていただいております。年相応に見えない事務局が浜に行った時は、よろしくお願いします。《事務局0より》

宮城県漁業士会中部支部事務局

宮城県東部地方振興事務所

水産漁港部水産振興班

〒986-0812

石巻市東中里1丁目4-32

宮城県石巻合同庁舎4階

TEL 0225-95-7914

FAX 0225-96-2698